

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境 ・ 体制 整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			基準を満たした適切なスペースを確保出来ている。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			児童の人数に対して決められた人数以上の職員が勤務している。
	③	事業所の設備等について、バリアフリーの配慮が適切になされているか	○			室内には段差がなく、トイレも広くスペースを取り、手すりも設置している。
業務 改善	④	業務改善を進めるための、PDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			毎月の事業所会議を利用し、問題提起や目標設定、業務の振り返りを行っている。
	⑤	保護者等向け評価票を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか			○	評価表は活用していないが保護者様の意見を集められるよう日々のやり取り以外に親の会を実施している。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			誰でも見られるように評価シートをホームページで公開する。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	会社内の監査はあるが、第三者からの評価は得ていない。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			定期的に社内研修に参加し、外部で参加可能な研修の開催があれば参加している。
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			保護者様に聞き取りを行い児童発達支援管理責任者が立てた原案を基にスタッフ全員で話し合い作成している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか			○	アセスメントツールを使用していない為アセスメントツールの準備が必要。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			決められた担当者が中心となってプログラムを決定している。
適切な 支援の 提供	⑫	活動プログラムを固定化しないよう工夫しているか		○		様々な活動を取り入れるようにはしているが同じプログラムになることもある。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか			○	おおまかな課題しか決められていないので今後細かく課題を設定し、支援を行っている。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
適切な支援の提供	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			それぞれの状況に応じて計画を立てている。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか		○		引継ぎなどは行えているが、役割分担についての確認が行えていない為、今後は役割分担の確認を行う。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	○			支援の内容だけではなく、その日気付いた事は報告し合っている。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			日々子どもたちの様子を記録し、それに応じて必要な改善は行っている。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			毎月のモニタリングを保護者様に確認してもらい、必要がある場合はサービス計画の変更を行っている。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか		○		基本活動を組み合わせて支援を行っているが、地域交流の機会の提供がまだ不十分だと感じる為、交流できる場を探していく。
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか			○	他社を交えた担当者会議がほとんど行えていない為場を作ってもらえるよう交渉していく。
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか		○		基本は保護者様とのやり取りになる為学校との情報共有は出来ていないように感じる。必要な連絡はこちらから行っている。
	㉒	医療ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○		現在医療ケアが必要な児童はいないが、受け入れることがあれば連絡体制を整える。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○		他社からの聞き取りシートを受け取った場合は児童の様子を細かく記入しているが、こちらから連絡することはあまりないので情報共有の機会を作る。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
関係機関 や保護者 との連携	24	がっこう そつぎょう ほうかごとう じ 学校を卒業し、放課後等デイサービス事 業所から障害 福祉サービス事業所等 へ移行する場合、それまでの支援内容等 の情報を提供する等しているか	○			ひつよう おう じょうほう ていきょう おこな 必要に応じて情報の提供を行っている。
	25	じどうはつたつしえん はつたつしょうがいしゃ 児童発達支援センターや発達 障害者 支援センター等の専門機関と連携し、助 言や研修を受けているか		○		けんしゅう かいさい ばあい さんか 研修が開催された場合はなるべく参加して いる。
	26	ほうかごじどう じどうかん こうりゅう 放課後児童クラブや児童館との交流や、 しょうがい こ かつどう きかい 障害のない子どもと活動する機会がある か			○	いっしょ かつどう きかい こうえんなど ほか 一緒に活動する機会はないが、公園等に関 わる機会はある。
	27	ちいきじりつしえん きょうぎかいとう せつきよくてき (地域自立支援)協議会等へ積極的に さんか 参加しているか			○	きょうぎかい かん しら かのう さんか 協議会に関して調べて可能であれば参加し たい。
	28	ひごころ こ じょうきょうほごしゃ つた 日頃から子どもの状況を保護者と伝え あ こ ばつたつ じょうきょうかだい 合い、子どもの発達の状況や 課題につ いてきょうつうりかい も いて共通 理解を持っているか		○		そうげい さい ひ じょうきょうたま つた 送迎の際その日の状況は細かく伝えている が、ゆっくり話す機会を設けることでさらに きょうつうりかい も 共通 理解を持てるようにしたい。
	29	ほごしゃ たいおうりよく こうじょうはか かんてん 保護者の対応力の向上を図る観点から、 ほごしゃ たい 保護者に対してペアレント・トレーニング とう しえん おこな 等の支援を行っているか			○	げんざい い 現在ペアレント・トレーニングと言えることは でき ためと い 出来ていない為取り入れていく。
保護者への 説明責任等	30	うんえいきてい しえん ないよう りようしゃふたんとう 運営 規程、支援の内容、利用者負担等 についてていねい せつめい おこな 丁寧な説明を行っているか	○			けいやくじいがい ひつよう ばめん しょくいん 契約時以外にも必要な場面があれば職員 がこま せつめい おこな が細かく説明を行っている。
	31	ほごしゃ から こそだ なや とう たい 保護者からの子育ての悩み等に対する そうだん てきせつ おう ひつよう じよげん 相談に適切に応じ、必要な助言と しえん おこな 支援を行っているか	○			いま ほんごしゃさま きがる そうだん 今よりもさらに保護者様が気軽に相談でき る場を作る。
	32	ふ ぼ かい かつどう しえん ほんごしゃかい 父母の会の活動を支援したり、保護者会 とう かいさい とう ほんごしゃどうし れ 等を開催する等により、保護者同士の連 んけい しえん 携を支援しているか	○			ねん かいおや かい じっし ほんごしゃさまどうし 年に3回親の会を実施し、保護者様同士が こうりゅう ば つく 交流できる場を作っている。
	33	こ ほんごしゃ くじょう 子どもや保護者からの苦情について、 たいおう たいせい せいび 対応の体制を整備するとともに、子ども ほごしゃ しゅうち くじょう ばあい や保護者に周知し、苦情があった場合に じんそく てきせつ たいおう 迅速かつ適切に対応しているか		○		くじょう たい じんそく たいおう ほか 苦情に対しては迅速に対応しているが、他 のじどう ほんごしゃさま しゅうち でき の児童や保護者様に周知が出来ていない ためしゅうちほう かんが 為周知方法を考える。
	34	ていきてき かいほうとう はっこう かつどうがいよう 定期的に会報等を発行し、活動概要や きょうじよてい れんらくたいせいとう じょうほう こ 行事予定、連絡体制等の情報を子どもや ほんごしゃ たい ほんしん 保護者に対して発信しているか	○			まいつき はっこう ぎょうじよてい かつどう 毎月おたよりを発行し、行事予定や活動の ようす つた 様子を伝えている。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
保護者への説明責任等	35	個人情報に十分注意しているか	○			全スタッフに周知し、個人情報が出漏れないよう徹底している。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			必要に応じて出来る限りの配慮を行っている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	現在事業所の行事に地域住民を招待することはしていない。まずは近隣の住民との関係性を築いていく。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○		職員は各マニュアルを把握できているが、保護者様への周知が出来ていない為周知方法を考える。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			毎月1回避難訓練を行っている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			社内で定期的に開かれる虐待防止研修に参加している。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			身体拘束を行う可能性がある場合は了承を得た上でサービス計画に記載し、拘束をした場合はその時の状況を細かく記録するよう職員に周知している。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			アレルギーがある児童に関しては保護者様から情報をいただき必要な対応を行っている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			ILIS CLUB全事業所で事故・ヒヤリハット報告書を共有し、保存している。